

沖縄の社会資本整備については、自然環境に配慮し沖縄らしい風景を活かしつつ、那覇空港の将来展望への検討や新石垣空港、那覇空港自動車道といった空港、港湾、道路などの交通体系の整備を進めるとともに、台風や大雨による災害などに対処する防災・減災対策、離島架橋、文教施設、医療体制の整備など生活環境の基盤整備を、これからも進めています。

基地負担の軽減については、沖縄における米軍の存在が、我が国の安全及びアジア・太平洋地域の平和と安定に貢献する一方で、在日米軍施設・区域の75%が沖縄に集中しており、県民の皆様に大きなご負担をお掛けしています。沖縄における米軍施設・区域の整理・縮小は、県民の過重な基地負担を軽減するとともに、土地の有効利用や自立型経済の発展を図る観点からも積極的に取り組んでいます。特に、普天間飛行場の移設・返還については、新たに設置された協議会などの場で、沖縄を担当する大臣として、沖縄との橋渡し役を務めていきたいと考えています。跡地対策、北部振興、基地所の要望をお聞きしながら着実に推進します。

奈良県出身  
平成5年衆議院議員選挙で初当選。平成9年衆議院決算委員会理事、平成10年衆議院行政監視委員会理事、同年通商産業政務次官、平成11年衆議院災害対策特別委員会理事、平成12年衆議院科学技術委員会与党筆頭理事、平成13年衆議院文部科学委員長、平成14年衆議院日本国憲法に関する調査特別委員会小委員長、同年経済産業副大臣を歴任。平成18年安倍内閣において、沖縄及び北方対策を担当する内閣府副大臣に、平沢勝栄氏が就任された。

（9月26日付け）。

進いたします。県民の皆様のご負担を軽減できるよう、これからも誠心誠意取り組んでいきます。多くの沖縄の県民の皆様の声をしっかりと伺い、新しい可能性も見つけながら沖縄の発展のため努めています。

## ■プロフィール

平成5年衆議院議員選挙で初当

選。平成9年衆議院決算委員会理

事、平成10年衆議院行政監視

委員会理事、同年通商産業政務次

官、平成11年衆議院災害対策特別

委員会理事、平成12年衆議院科学

技術委員会与党筆頭理事、平成13

年衆議院文部科学委員長、平成14

年衆議院日本国憲法に関する調査

特別委員会小委員長、同年経済産

業副大臣を歴任。平成18年安倍内

閣において、沖縄及び北方対策を担

当する内閣府特命担当大臣に就任

（9月26日付け）。

内閣府副大臣に  
平沢 勝栄 氏が就任

内閣府大臣政務官に  
谷本 龍哉 氏が就任



## ■プロフィール

平成8年衆議院議員選挙で初当選。平成13年防衛庁長官政務官、平成15年総務大臣政務官、平成17年衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員長を歴任。平成18年安倍内閣において、内閣府副大臣に就任。

東京都出身  
平成8年衆議院議員選挙で初当選。平成13年防衛庁長官政務官、平成15年総務大臣政務官、平成17年衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会委員、同年衆議院外務委員会理事、平成17年衆議院総務委員会理事を歴任。

内閣府大臣政務官に就任。  
和歌山県出身